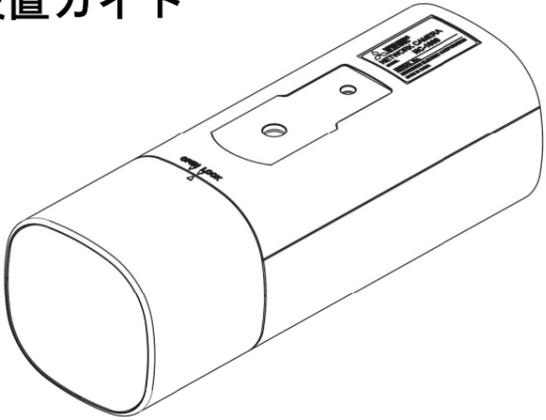


MITSUBISHI ELECTRIC

ネットワークカメラ

形名 NC-1000

設置ガイド



このたびは三菱電機ネットワークカメラをお買い上げいただき、ありがとうございます。正しく安全にお使いいただくため、ご使用になる前に、この設置ガイドを必ずお読みください。据付工事は、販売店または専門の工務店が実施してください。間違った工事は、故障や事故の原因になります。据付工事は必ず付属部品及び指定の部品をご使用ください。当社指定部品を使用しないと故障の原因となります。設置ガイドは大切に保管し、必要な時にお読みください。

SM-Y8533B
© 2016 MITSUBISHI ELECTRIC CORPORATION ALL RIGHTS RESERVED

2016年12月作成

使用上のご注意

- 本文中に使われる「図記号」の意味は次の通りです。
- ご使用前に、この項を必ずお読みになり正しく安全にお使いください。
- ここに示す注意事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。

	禁止		電源プラグを抜く
	分禁禁止		指示を守る
	濡れ手禁止		

		警告	誤った取扱いをしたときに、死亡または重傷などに結びつく可能性があるもの。
	LAN ケーブルを傷つけたり、加工しない		万一異常が発生したら、LAN ケーブルをカメラもしくはネットワークレコーダーから抜く、またはネットワークレコーダーの電源をすぐ切る！
	LAN ケーブルに重い物をのせたり、熱器具に近づけないこと。ケーブルが破損します。傷ついたケーブルをそのまま使用すると火災、感電の原因となることがあります。ケーブルを加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったりすると火災、感電の原因となります。ケーブルが傷んだらすぐ販売店にご連絡ください。		映像が出ない、煙、変な音、においがするなど、異常状態のまま使わないでください。火災の原因となります。このようなときはすぐにLAN ケーブルをカメラもしくはネットワークレコーダーから抜く、またはネットワークレコーダーの電源スイッチを切り、その後、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなったのを確認して販売店に修理をご依頼ください。
	雷が鳴り出したら LAN ケーブルをカメラもしくはネットワークレコーダーから抜く、またはネットワークレコーダーの電源をすぐ切る		強度が十分な場所に取り付ける
	早めに LAN ケーブルを抜き、電源供給を停止してください。		ぐらついた箇所や傾いたところなど不安定な場所に据え付けられないでください。また、バランス良く据え付けてください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。
	薬品や有害ガス雰囲気内で使用しない		水気の多い場所では使わない
	爆発したり火災の原因となります。		水気の多い場所や結露する場所での使用は、火災の原因となります。

		注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつく可能性があるもの
	次のような置き方はしない		重い物をのせない、踏み台にしない
	火災・感電の原因となることがあります。		本機の上に仕様以外の物を置かないでください。落下して、けがの原因になることがあります。また火災・感電の原因となることがあります。本機の上に乗らないでください。乗ると倒れたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。特にお子さまにはご注意ください。
	移動させる場合は外部の接続を外す		2年に一度は定期点検を
	ケーブルに傷がつくと、火災・感電の原因となることがあります。移動させるときは、機器の接続を外したことを確認してください。		販売店におまかせください。定期的に点検すると火災・故障を防ぎます。点検費用については販売店にご相談ください。
	高温環境下で使用時は筐体に触らない		
	高温環境下での連続運転後に筐体に触る場合、LAN ケーブルを抜き、冷ましてから本機にタッチしてください。発熱による火傷の原因となります。		

お願い	
	ケースを傷めないために
	ベンジンやシンナーなどで拭くと変質したり、塗料が剥げる原因となります。【化学ぞうきんをご使用の際はその注意書に従ってください。】
	LAN ケーブルやその他のケーブルを大切に
	重い物をのせたり、熱器具に近づけないでください。ケーブルが破損します。ケーブルに傷がつくと故障の原因となります。ケーブルが傷んだらすぐ販売店にご連絡ください。
	カメラを太陽に向けない
	カメラを使用しているないにかかわらず、レンズを太陽に向けないでください。
	LAN ケーブルは最大延長距離以内で
	LAN ケーブルは最長 100m 以内で接続してください。100m を超えて接続しますと、正しく動作しない場合があります。

仕様一覧

	項目	仕様
カメラ部	撮像素子	1/3 型 CMOS センサ
	有効画素数	約 123 万画素
	画像サイズ	1280×960, 1280×720, 704×576, 704×480, 640×480, 640×360, 320×180
	電子シャッター	1/25 秒, 1/30 秒, 1/50 秒, 1/60 秒, 1/100 秒, 1/250 秒, 1/500 秒, 1/750 秒, 1/1000 秒, 1/2000 秒, 1/4000 秒, 1/10000 秒
	最低被写体照度	0.1 lx (電子シャッター1/30 秒, AGC 最大時)
	レンズ	オートアイリスバリフォーカルレンズ
	焦点距離	f = 2.7 mm ~ 9.0 mm
	画角	水平：95.9° ~ 32.2° 垂直：71.3° ~ 24.2° (画像サイズ 1280×960 時)
	フリッカーレス機能	有り (50Hz, 60Hz)
	逆光補正機能	有り
ホワイトバランス	自動 1 ~ 4	
動体検知機能	有り	
プライバシーマスク	有り	
音声入力	外部マイク / 内蔵マイク切替による φ2.5mm ミニチュアジャック、最大ケーブル長 5m ※外部マイク接続には変換ケーブルが必要となります。	
音符号号化	音符号号化 G.711 (μ-Law)	
AV 同期	非同期	
ローカルモニタ出力	φ2.5mm ミニチュアジャック、画角調整専用	
映像記信部	画像圧縮形式	H.264
	フレームレート	最大 30fps
	ビットレート	32kbps ~ 8Mbps
その他	最大伝送距離	100 m (UTP Cat5e 使用時)
	使用温度、湿度	-10°C ~ +50°C, 85% RH 以下 (ただし結露しないこと)
	電源	PoE
	消費電力	電カクラス 1 (0.44 W ~ 3.84 W)
	塗装色	オフホワイト
	外形寸法	60 (W) × 160 (D) × 60 (H) mm (レンズカバー含む、突起部除く)
	質量	270g 以下
	付属品	取扱説明書 (CD-ROM) 1 枚 設置ガイド (保証書含む) 1 部

保証書

製造番号	NC-1000	お名前	ご住所	TEL	販売店住所・店名	保証書
						保証期間
形名	お客様	保証期間	1年間	TEL	お問い合わせ先	保証書

お問い合わせ先は、保証書記載の販売店へどうぞ

		警告	誤った取扱いをしたときに、死亡または重傷などに結びつく可能性があるもの。
	カメラもしくはケーブルを扱う前に静電気放電を済ませておく		ケースを外さない、改造しない
	カメラもしくはケーブルに触れたときに静電気放電が起こると、破損する場合があります。破損したカメラやケーブルをそのまま使用すると火災、感電の原因となることがあります。映像が出ない、煙、変な音、においがするなど、異常状態になったら、すぐ販売店にご連絡ください。		本機の内部に触ったり、改造すると火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。
	LAN コネクタの接続を確実にすること		濡れた手で LAN ケーブルの抜き差しはしない
	差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。		濡れた手で LAN コネクタの抜き差しはしないでください。
	ポリ袋で遊ばない		
	幼児の手の届くところに置くと、頭からかぶるなどしたときに口や鼻を塞ぎ、窒息し死亡する恐れがあります。		

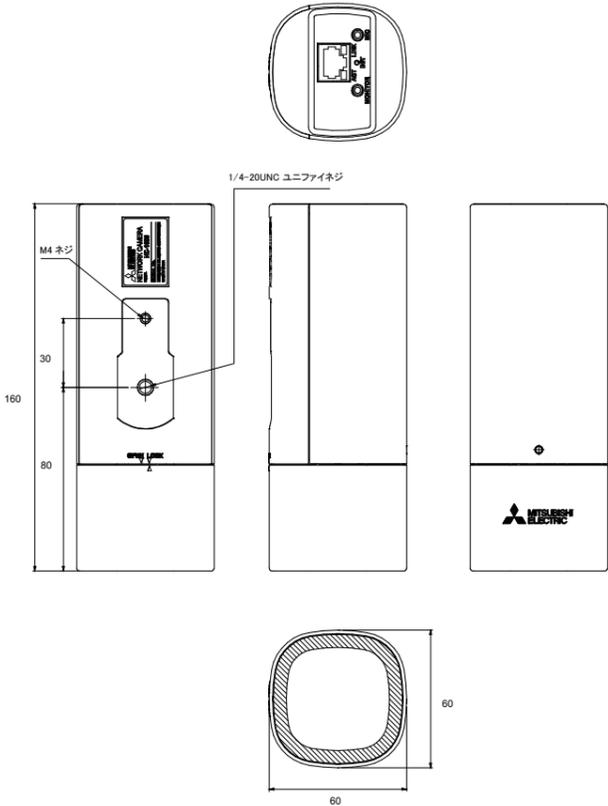
保証とアフターサービス

- (1) 本保証書は、販売店が所定事項を記入後お渡ししますので、お受け取りの際は「保証期間」「販売会社」をご確認の上、大切に保管してください。
- (2) 保証規定
 - 1) 保証期間内 (お買い上げ日より 1 年間) に正常な使用状態において万一故障した場合には無料で修理いたします。
 - 2) 保証期間中でも次の場合には有料修理になります。
 - ① ご使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - ② 火災、地震、水害、塩害、異常電圧、指定外の使用電源、及びその他の天災地変などによる故障及び損傷。
 - ③ 特殊環境(たとえば極度の湿気、薬品のガス、公害、塵埃など)による故障及び損傷。
 - ④ 本書のご提示がない場合。
 - ⑤ 本書の未記入、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - 3) 本保証書は、日本国内においてのみ有効です。(THIS WARRANTY IS VALID ONLY IN JAPAN)
- (3) 補修用性能部品の保有期間
補修用性能部品の最低保有期間は生産終了後 7 年です。(性能部品とは製品の機能を維持するために不可欠な部品です。) 詳しくはお求めの販売店にご相談ください。

お願い

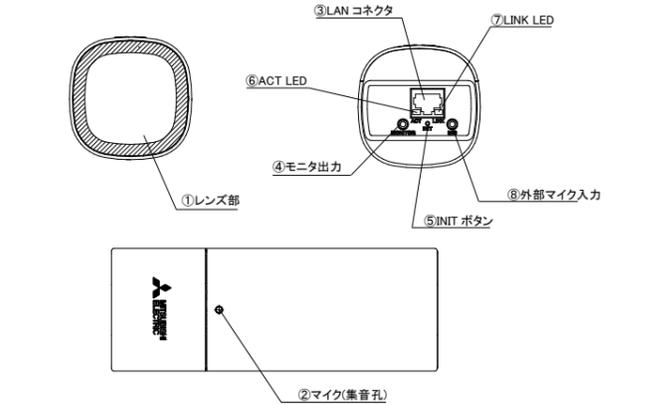
持ち運びはいいい	本体のお手入れは
本機は壊れやすいので持ち運びは十分に注意して行ってください。	お手入れの際は電源供給を切ってください。水に薄めた中性洗剤に浸した布をよく絞り、拭いてください。
外来ノイズについて	ネットワークのセキュリティについて
本機の近くや LAN ケーブル付近に電力線や電力機器、蛍光灯等がある場合、それらから発生するノイズにより通信データの伝送ロスが頻繁に発生する場合があります。そのような環境でのご使用の際は STP ケーブルの使用を推奨します。また、本機及び LAN ケーブルはノイズ源からできるだけ離すようにしてください。*STP = シールドツイステペア	ネットワークのセキュリティ対策に関しては、お客様ご自身の責任で行ってください。不正アクセスなどネットワークのセキュリティ上の問題により発生した直接、間接の損害については、当社は一切の責任を負いかねます。 ●カメラのパスワードを定期的に変更する。 ●カメラの HTTP、RTSP ポート番号を変更する。 ●通信機器でカメラへのアクセス制限を行う。
内蔵ソフトウェアビューワーの利用に関して	VCCI-A に関する注意事項
ネットワークや PC の影響などにより、ライブビューができなかったり、ライブビューがスムーズではない場合があります。これにより生じるお客様の損害について、当社は一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。	この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。
著作権について	映像および音声の利用によるプライバシー・肖像権の注意
お客様が撮影した映像や画像、録音した音声などは、著作権法上、権利者に無断で使用・公開することはできませんのでご注意ください。	本機の使用につきましては、お客様の責任でプライバシーの保護や肖像権の侵害防止などに十分にご配慮ください。 例えば、特定の建築物や屋内などが映し出される場合には、事前にカメラ設置の了承を得るなど対応してください。当社では一切の責任を負いかねます。
法律上の注意事項	
カメラによる監視は法律によって禁止されている場合があります。その内容は地域によって異なります。ご利用になる地域の法律を確認の上、ご利用ください。	

寸法図



(単位：mm)

各部の名称

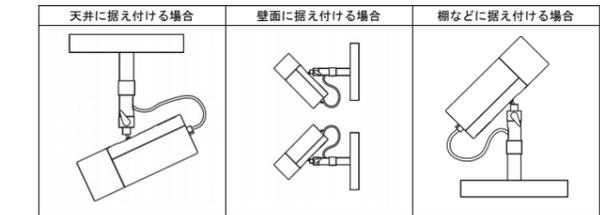


- ① レンズ部
レンズはカメラ本体に固定されています。レンズの交換はできません。レンズカバーは取り外すことができます。(レンズカバーの着脱は「レンズカバーの着脱方法」をご参照ください。)
- ② マイク (集音孔)
本体底面の集音孔から、内蔵マイクにより集音します。集音孔を塞がないでください。
- ③ LAN コネクタ
RJ-45 型コネクタです。LAN ケーブルを接続します。PoE に対応しています。ケーブルは、UTP Cat5e 以上のケーブルを接続してください。また、外来ノイズの多い環境で使用される場合は STP (シールドツイストペア) ケーブルの使用を推奨します。
- ④ モニタ出力
φ2.5mm ミニチュアジャックです。画角調整用のモニタ出力です。画角を調整する時のみ、ご使用下さい。
- ⑤ INIT ボタン
パラメータ値を初期化するボタンです。初期化する場合は (約 20 秒) 押ししてください。その後、LAN ケーブルを一旦外して再接続してください。工場出荷時設定で起動します。誤ってボタンが押されないようご注意ください。
- ⑥ ACT LED (橙)
ネットワークとリンク確立時に点灯し、データの受信時に点滅します。接続環境により、データの送信時に点滅する場合もあります。
- ⑦ LINK LED (緑)
ネットワークと 100BASE-TX で接続時に点灯します。
- ⑧ 外部マイク入力
φ2.5mm ミニチュアジャックです。外部マイクを接続します。外部マイク接続時には変換ケーブル (別売) が必要です。

カメラの設置

据え付け場所の選定

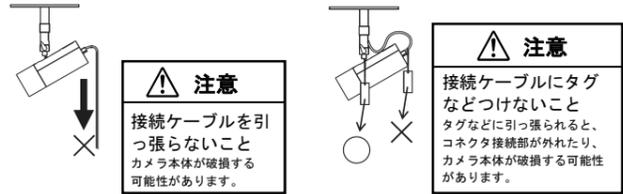
カメラは据え付け場所により様々な据え付け方向が選べます。設置前に十分検討の上、最適な場所を選定してください。



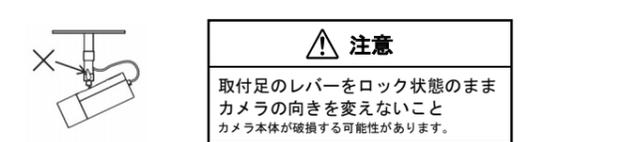
※欄に据え付けるなど逆さにして設置した場合は、映像を適切な向きにするために取扱説明書の「8.6.4.f ビデオ調整」の項をご参照ください。

据え付け時の注意事項

- (1) 接続ケーブル取付時の注意
接続ケーブルを引っ張らないでください。
- (2) タグなど取付時の注意
タグなどを付ける場合は、取付足に付けてください。接続ケーブルには付けしないでください。



- (3) カメラ画角調整時の注意
カメラの向きを変える場合は、必ず取付足のレバーをロック解除し、カメラの中心を持って変えてください。レバーがロック状態のままカメラの向きを変えないでください。



接続の仕方

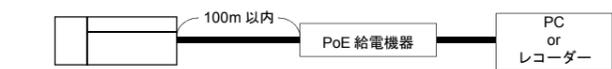
本機は、PoE 給電機器より電源が供給されます。カメラと PoE 給電機器及び PC 間を接続する LAN ケーブルが別途必要になります。(※LAN ケーブル (UTP/STP Cat5e 以上))
カメラと PoE 給電機器の間は、100m 以内で接続してください。最大ケーブル長を超えて接続すると、通信ができなくなります。

接続

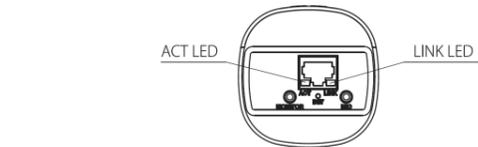
- (1) カメラと PoE 給電機器を接続します。



- (2) PoE 給電機器と PC あるいはレコーダーを接続します。



- (3) PoE 給電機器へ電源を供給します。
- (4) カメラの ACT LED が点滅を始め、LINK LED が点灯するのを確認してください。



- (5) レコーダーとの接続は映像が配信されるのを確認してください。電源供給後、約 1 分で通信可能となります。PC との接続の確認については(6)以降の手順にしたがってカメラのビューワーにアクセスしてください。電源供給後、約 1 分で通信可能となります。
- (6) PC にて Web ブラウザーを起動し、アドレスバーにカメラの IP アドレスを入力し、Enter キーを押してください。

- (7) 表示されるログインページにユーザー名 (工場出荷時設定: admin) パスワード (工場出荷時設定: admin) を入力して、[ログイン]ボタンをクリックします。



- (8) ビューワーの[ライブビュー]タブが開かれます。ライブビュー画面中央のリンクをクリックしてください。

プラグインをダウンロード/インストールするためにここをクリックしてください。プラグインをインストール中はブラウザを閉じないでください。

- (9) プラグインのインストールの実行を確認する通知バーが表示されますので、[実行]を選択してください。



- (10) セットアップウィザードが開始されますので、[Next]を選択した後、[Install]を選択してインストールを開始してください。インストールが完了したら[Finish]を選択してください。



- (11) [ライブビュー]タブを更新して、ワーニングダイアログから[許可]を選択します。映像がライブビュー画面に表示されるかを確認してください。



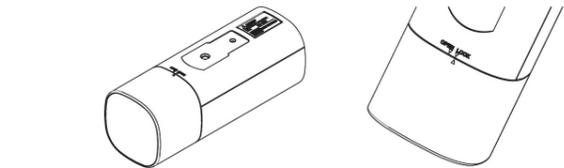
※カメラの IP アドレスは DHCP サーバーを利用する (工場出荷設定時) 場合は、サーバーから割り当てられる値になります。IP アドレスが割り当てられない場合は、「192.168.1.1」となります。※機能や設定の一部は、取扱説明書の「6.2 初期設定」を完了しないと利用できない場合があります。※ビューワー動作環境については、取扱説明書の「6.1 カメラのビューワーソフトウェアについて」をご覧ください。※PC セキュリティの設定によっては、プラグインのインストールの際にここでは説明されていない通知バーやダイアログが表示される場合があります。

レンズカバーの着脱方法

カメラにはレンズカバーが装着されています。画角、ピント調整の際にはレンズカバーを外し、調整が終わりましたら装着してください。

レンズカバーの外し方

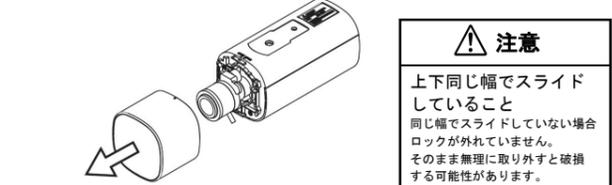
- (1) 本体とレンズカバーの▽マークの表示でスライド方向を確認してください。



- (2) スライド方向に向かって「パチン」と音がしてレンズカバーの▽マークが OPEN 位置に合うまでスライドさせてください。



- (3) スライド後、レンズカバーを矢印方向に取り出してください。



レンズカバーの取り付け方

「レンズカバーの外し方」の逆の手順でレンズカバーを取り付けてください。レンズカバーはしっかりと嵌合してください。しっかりと嵌合されていないとレンズカバーが落下し、破損の原因となる場合があります。

画角、ピントの調整

目的にあわせ画角、ピントの調整を行ってください。

接続

- (1) カメラとレコーダーを接続します。接続の詳細は「接続の仕方」をご参照ください。
- (2) モニタ出力端子に設置確認用モニタを接続します。モニタ出力端子には、2 極、φ2.5mm ミニチュアジャック (JIS 6560-1979) を使用してください。

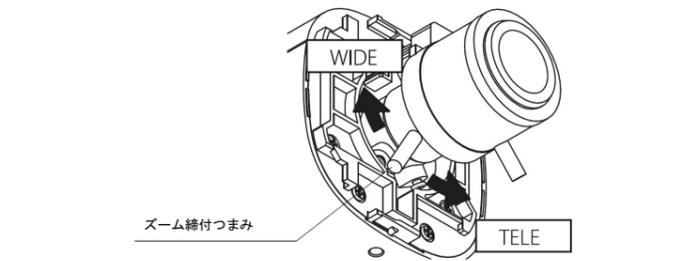
画角、ピントを調整する時の注意事項

以下の注意事項にしたがって画角、ピントの調整を行ってください。

警告	注意
カメラもしくはケーブルを扱う前に静電気放電を済ませておく カメラもしくはケーブルに触れたときに静電気放電が起こると、破損する場合があります。破損したカメラやケーブルをそのまま使用すると火災、感電の原因となることがあります。映像が出ない、煙、変な音、においがするなど、異常状態になったら、すぐに販売店にご連絡ください。	フォーカスリング、ズームリングを過度な力で回転させない 回転が止まる位置から更に過度な力で回転させた場合、レンズが破損し、正常動作しません。工具などで過度に締め付けないようにご注意ください。
注意	お願い
フォーカス締付つまみ、ズーム締付つまみは 1 回転程度を目安に指先で緩める つまみを緩めすぎると部品脱落の原因となりますのでご注意ください。工具などで緩めないでください。	ピント調整時は ND4 または ND8 の減光フィルタをレンズにかざして行う 減光フィルタを装着せずにピント調整を行うと、撮影環境変化時にピントが甘くなる可能性があります。(減光フィルタ：別売)

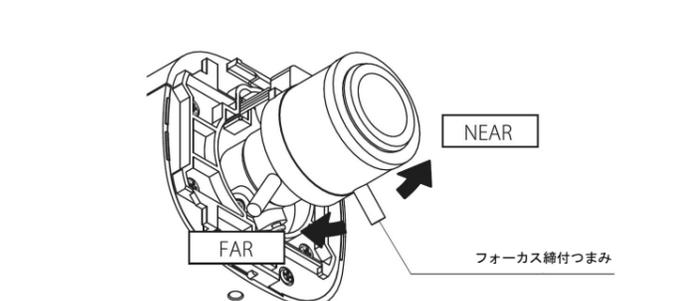
画角調整 (ズーム操作)

- (1) ズーム締付つまみを緩めます。
- (2) ズームリングを回して適当な画角を選択します。リングを「WIDE」側に回すと広角、「TELE」側に回すと望遠になります。
- (3) 「ピント調整」の項目を参考にして、ピントを合わせます。
- (4) ズーム締付つまみをしっかりと締付けます。



ピント調整 (フォーカス操作)

- (1) フォーカス締付つまみを緩めます。
- (2) フォーカスリングを回してピントを合わせます。リングを「FAR」側に回すと無限遠側、「NEAR」側に回すと至近側にピントが合います。
- (3) フォーカス締付つまみをしっかりと締付けます。



お手入れのしかた

- (1) 汚れがひどいときは、カメラから LAN ケーブルを抜き、電源を切った状態で、水で十分薄めた中性洗剤に浸した布を固く絞って拭き取り、乾いた布で仕上げてください。(故障の原因になりますので、内部に水が入らないようご注意ください。)
- (2) レンズの清掃はクリーニングペーパー (メガネやカメラの清掃に使うもの) で行ってください。
- (3) 本機に直接水をかけないでください。内部に水が入り、故障の原因になります。

故障かな?と思ったら

下記の点をもう一度確かめください。お確かめの結果、なお異常のある場合は、機種名、接続構成、現象及び発生時の状況を記録し、電源を切ってからサービスをお申し付けください。

- (1) LAN ケーブルは正しく接続されていますか?
- (2) カメラに適合した規格の LAN ケーブルを使用していますか? (LAN ケーブル：UTP/STP Cat5e 以上)
- (3) モニタの電源スイッチは ON になっていますか?
- (4) 外部マイクは正しく接続されていますか? (プラグの抜け、半挿しまたはモニタ出力コネクタに挿入しているなどはありませんか?)
- (5) 外部マイクの変換ケーブルは適切な位置に固定されていますか?

ご注意

本書に記載した内容は、予告なしに変更することがあります。本書に記載した内容は、商品性や特定の目的に対する適合性を保証するものではなく、当社はそれらに関して責任を負いません。また、本書の記載の誤り、あるいは本書配布、内容、利用にともなって生じる偶発的、結果的損害に関して責任を負いません。本書の内容は、著作権によって保護されています。本書の一部または全部を書面により事前の許可なくして複写、転載、翻訳することは禁止されています。